

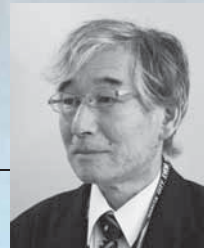
「下総歴史民俗資料館」

市では、市民の皆さんに市内の施設や発展状況を紹介し、市政に対する認識と理解を深めてもらうと、毎年4回、施設見学会を開催しています。「施設見学会紙上ツアー」では、今までに見学した施設から、好評だった見学先にスポットライトを当て、皆さんに紹介します。

見どころを教えてください！

下総歴史民俗資料館担当職員に
聞きました

生涯学習課主査
くろさわ てつろう
黒沢 哲郎さん



資料館では、市民の皆さんに文化財を身近に感じてもらうと、毎年テーマを設けて企画展を開催しています。今年度は、こうしやうし接待寺(冬父)が所蔵しているおにまいめん鬼舞面を、12月15日(日)まで展示しています。「鬼舞」とは、地獄に送られた亡者がさまざまな責苦を負い、最後に観音菩薩の慈悲で救われるという物語を仮面劇にしたもので、昭和22年まで、接待寺で33年に1度演じられていました。その劇で使われていた13枚の面を公開しています。面は、普段見ることができない県指定の貴重な文化財ですので、この機会に、ぜひ見に来てください。



これらの鬼面のほか、幽霊・観音の面など鬼舞面13枚を展示



下総運動公園内に立つ下総歴史民俗資料館

下総歴史民俗資料館は、旧下総町の町制施行40周年を記念し、平成7年に下総運動公園内に建設されました。

館内には、下総地区で出土した考古資料や、民俗資料などを中心に約400点が展示されています。

平成19年には、「しょうふくじ南羽鳥正福寺遺跡第1地点1号墳の形象埴輪(市指定有形文化財)」や、大栄地区で出土した縄文土器を

新たに展示するなど、貴重な資料を公開しています。

資料館では、古墳から出土した副葬品や古代の復元家屋などを通して歴史を学び、また、昔の農具・漁具・玩具などから、当時の人たちの生活の様子を知ることができます。

皆さんも、いにしえの人々の生活に思いをはせてみませんか。

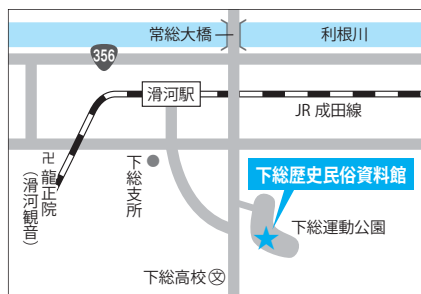
見学したい人は

見学できる日=火～日曜日(祝日の翌日、12月29日～1月3日を除く)、なお、月曜日が祝日と重なった場合は見学できません

見学できる時間=午前9時～午後4時30分

見学科=無料

※くわしくは下総歴史民俗資料館(☎96-0080)へ。



住所：高岡1500番地

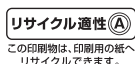
編集後記

木々の葉も色付き秋の深まりを感じる季節です。市内で紅葉の名所としてまず頭に浮かぶのは成田山公園。11年半ばから12月上旬が見ごろで、鮮やかな赤や黄色の葉が池の水面に映し出される光景は絶好の被写体です。撮影のタイミングを計って訪ねると、平日でも結構な人出が。週末ともなれば撮影ポイントにはカメラマンたちが集まり混雑します。12月1日まで紅葉まつりが行われます。皆さんもぜひ訪れてみませんか。

平成25年11月15日号 No.1255

成田市のホームページ

<http://www.city.narita.chiba.jp>



広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。